

はいうす



HP毎日更新中



小樽市立張碓小学校

<教育目標>

- 学習にはげむ子ども
- 礼儀正しい子ども
- 健康な子ども

第10号

令和6年12月24日

挑戦すること、夢を叶えること

校長 西山 誠一

世相を表す今年の漢字は、「金」が選ばれました。同じように、今年の張碓小を漢字で表すと何だろうと考えると、私は「挑」という字が頭に浮かびました。

子どもたちは、学校の内外を問わず、挑戦し続けました。学校では、九九を覚える、逆上がりをする、リコーダーを吹くなど、日々新しいことに一生懸命取り組んできました。また、潮ねりこみ、運河ロードレース大会、音読カップ等の市内の行事に参加する子どもが増えました。

教職員も新しいことに挑戦をしています。特に今年は、教育の情報化の流れに乗り、ICTの活用を積極的に行いました。端末やデジタルドリルの利活用について、教員間で何度も研修を行いました。PTAの活動では、運動推進部の皆さんが、授業でのボルダリングのお手伝いを積極的に行ってくださいました。生活・広報部の皆さんは、小樽市PTA連合会広報紙コンクールへの出品に向けて、精力的に広報紙作りをされました。

これらは一例ですが、「やってみよう！」という前向きな空気が学校中に流れているようで、嬉しく思います。新しいことに挑戦することは、勇気がいることです。何もしなくても、日々を過ごすことはできます。しかし、自分や周りを高めようとする気持ちが、未来を変えていくのです。



夢を叶えるためには、目標をもつことが大切です。そして、自分の目標を紙に書いたり口にしたりするなど、周囲に宣言することで、叶えるための強い意志が生まれます。例えば、「サッカーの試合に勝てますように…」という願いを「サッカーの試合に勝ちます」というように宣言に変えることで、達成するためにはどうしたらよいのかを考えることにつながります。

また、「叶」という字は口に+（プラス）と書きます。プラスのことを口にすることで目標に向かって行けるのだと思います。逆に、「叶」に-（マイナス）で「吐」という字になります。弱音を吐く、捨て台詞を吐く…。後ろ向きな言葉が浮かびます。うまくいかないとき、夢を諦めようと思ったとき、「叶」という字を思い出し、プラスの言葉を探してみるとよいのではないのでしょうか。

自分を見つめ直すチャンスが冬休みです。2学期までの学習や生活を振り返り、力を付けた自分に自信をもち、新たな目標を立てて新年をスタートしてほしいと思います。

保護者、地域の皆様に支えられ、無事に2学期を終えることができました。令和7年も、張碓の地域、張碓小学校にとってよい年になりますよう祈っています。皆様、よいお年をお迎えください。



交通安全旗の寄贈がありました

～ 小樽市 PTA 連合会

小樽市 PTA 連合会より、市内小中学校へ交通安全旗の寄贈がありました。今後、児童生徒が痛ましい交通事故に遭うことがないようにという思いを込めて作られました。

寄贈された旗を子どもたちの見守り活動に役立てていきます。



ガラス製作で自分だけの作品づくり

12月6日(金)は卒業記念として、6年生が市内のガラス工房にて、ガラス製作体験をしてきました。

6年生は、2つの工房に分かれ、スタッフの方に作り方を教わりました。子どもたちは、長い管に息を吹き込んでガラス玉を膨らませるなど、初めてのことに慎重に取り組んでいました。ガラスの完成が楽しみです。



小中学校書写展のお知らせです

市立小樽美術館にて、1月8日(水)～10日(金)まで、市内の小中学生が授業で取り組んだ書写の作品が展示されます。

本校からは、次の児童の作品を出品いたします。

3年	課題「正月」	伊地知 南月	長出 陸
4年	課題「出発」	伊藤 凧人	田中 藤碁
5年	課題「希望」	渡邊 ダム 力歌	和歌 初衣
6年	課題「感謝」	妹尾 航太郎	小畑 美結 能村 凌士

明日から冬休みです ～安全に楽しく

いよいよ明日から、子どもたちが楽しみにしている冬休みが始まります。夏休みが長かった分、例年より短い冬休みですが、冬型の事故に気をつけて、充実した冬休みを過ごしてほしいと願っています。夏休み開始直後には痛ましい交通事故がありましたので、外出の際は十分に気をつけるようお子さんと話してください。

学校閉庁日のお知らせです

12月28日(土)～1月5日(日)は、学校閉庁日です。閉庁期間中に緊急の連絡が必要な場合は、小樽市教育委員会へご連絡をお願いします。

【小樽市教育委員会 32-4111】

なお、学校の冬季休業中の電話対応は、

8:30～16:30 とします。

皆様のご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

子どもの命を守るために

市内では、保護者による虐待により、小学生の児童が亡くなるという悲しい事件がありました。

児童虐待防止法では、虐待の疑いがある場合は、通告義務があります。万が一、そのような疑いがある場合には、学校から子ども家庭課や児童相談所等関係機関へ通告を行いますので、ご承知おください。

【相談窓口】

- ①子ども相談支援センター 0120-3882-56
- ②北海道いのちの電話 011-231-4343
- ③24時間子どもSOSダイヤル0120-0-78310
- ④子どもの人権110番 0120-007-110

小樽市総合博物館自由研究作品展

～「学芸員推薦作品」に入選

市内の小学生の自由研究作品展が小樽市総合博物館で行われました。工夫が凝らされた工作や調べ学習等が数多く展示されていました。張碓小からも数点を出品し、3年生の山地風さんの「手もちじゃかご」が昨年に続いて「学芸員推薦作品」に選ばれました。おめでとうございます！



いじめの未然防止のために

～ 児童会生徒会オンラインミーティング

11月26日(火)は銭函中学校区の4校(銭函中、銭函小、桂岡小、張碓小)の生徒会・児童会の児童・生徒が、「いじめを未然に防ぐために」「よりよい学校にするために」をテーマにオンラインで話し合いをしました。初めて会う緊張感は自己紹介をすることで和み、グループ毎の話し合いでは、いじめの未然防止等につ



いて積極的に発言することができ、よい機会となりました。

小樽警察署・かま栄見学 ～ 2・3年生

12月5日(木)は2・3年生が生活科・社会科の学習で小樽警察署とかま栄の見学へ行ってきました。

警察署では、パトカーに乗せてもらったり、署内の部屋を案内してもらったりしました。警察の方からは、警棒や手錠などの道具の説明があり、子どもたちも触ることができました。見学後、「将来は警察官になりたい!」という子どもが何人もいました。

かま栄では、かまぼこをつくる工程を見ることができました。子どもたちはすり身を混ぜる機械が動いているところを見て驚いていました。

